

# 外務省・国際交流基金による コンテンツの海外展開に関する取組



外務省

平成28年11月

# 在外公館文化事業

在外公館が管轄地域における対日理解の促進や親日層の形成を目的として、外交活動の一環として開催する日本文化の発信事業。現地のニーズを踏まえ、様々な事業を実施。平成27年度は約2,300件実施。



タイ・チェンマイ  
「タイ北部巡回アニメ映画祭」  
(平成28年5月)

映画館にて映画を見る機会の少ない遠隔地の児童を対象に、日本のアニメ映画の上映会を実施。上映に際し、日本文化の紹介を行い、将来の二国間関係の重要な担い手となる若年層に対して対日理解の促進及び親日感情の醸成を図った。



米国・サンフランシスコ  
「第4回サンフランシスコ日本映画祭」  
(平成28年7月)

西海岸最大規模のJ-POPカルチャー紹介イベントである「J-POPサミット・フェスティバル」のメイン企画の一つとして開催。「恋人たち」、「千年の一滴 だし しょうゆ」、「Tokyo Short Shorts」を上映。多数のメディアに報道された。



ロシア・マガダン  
「第50回日本映画祭 INマガダン」  
(平成28年10月)

遠隔地であるマガダン市において日本映画を上映することで、日本文化に接する機会が少ないマガダン市民の対日関心を喚起し、新たな親日層の獲得に寄与した。「しあわせのパン」、「こまねこ」、「ハウルの動く城」を上映。子供から高齢者まで幅広い世代が参加した。

# 国際交流基金事業

外務省が所管する(独)国際交流基金では、専門性やネットワークを活かしつつ、展覧会、音楽、舞台芸術等の大規模な海外公演、日本映画上映、様々な分野の専門家の海外派遣等を実施。



©2016TIFF



©2008「おくりびと」製作委員会



## 日本・アジア

### 東京国際映画祭との連携交流事業 (平成26年度より)

アジア映画紹介部門設置、アジアの映画関係者や映画バイヤー・セラーなどの招へいによる交流促進、特別賞の授賞、アジア3か国の監督によるオムニバス映画制作等、多面的な交流事業を実施。

## アジア・大洋州

### JFF(Japanese Film Festival : 日本映画祭) アジア・パシフィック ゲートウェイ構想 (平成28年度より)

アセアン諸国を主対象とし、アセアン全体での日本映画への興味・関心を喚起し、鑑賞者数増加を実現するための日本映画総合プラットフォームを構築。

対象国の日本映画祭のネットワーク強化、ファン参加型PRイベント実施、オンラインプラットフォームなどを連動させ、「日本映画ブランド関心層」を獲得し、新たな日本映画市場を創造する。

## ブラジル

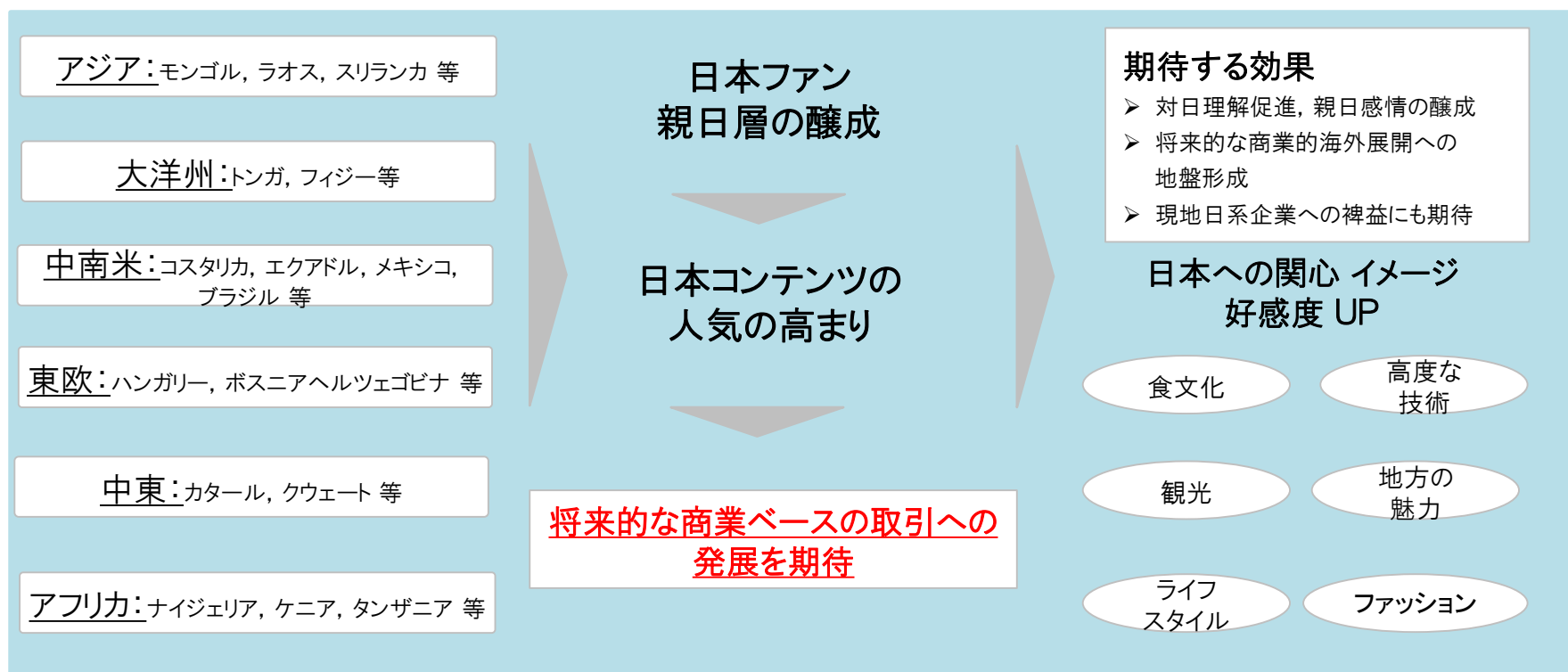
### 日本映画上映「中平康監督特集」 (平成28年7～8月)

リオ五輪開催に合わせて、第1回東京五輪(1964年)開催当時に活躍していた巨匠たちの中から、中平康監督の特集上映を実施。リオ及びサンパウロで8作品を上映。

# 放送コンテンツを活用した発信

●国際交流基金の放送コンテンツ等海外展開支援事業を通じて、商業ベースでは日本コンテンツが放送されない国・地域を中心に、日本のドラマ、アニメ、ドキュメンタリー、映画、バラエティ等の無償提供を行う(平成26年度補正及び平成27年度補正にて予算措置。平成26年度補正予算:30.35億円,平成27年度補正予算:25.03億円)。

●平成28年11月1日現在,48か国の放送局において,のべ192番組を提供。



# これまでの事業実施状況等

## ＜提供番組例＞



新海誠監督の映画「秒速5センチメートル」



ドラマ「カーネーション」  
(NHK)

ドキュメンタリー

・「**防災先進国 日本のノウハウ**」→ネパール, サモア

バラエティ

・「**料理の鉄人**」→タンザニア, パプア・ニューギニア

ドラマ

・「**カーネーション**」→モンゴル, フィジー, トンガ, パプア・ニューギニア, トリニダード・トバゴ, ベネズエラ, パラグアイ, セルビア, ウズベキスタン, ルーマニア, タンザニア, ザンビア, ジンバブエ, ケニア  
 ・「**マルモのおきて**」→モンゴル, ラオス, バングラデシュ, ブータン, サモア, パプア・ニューギニア, ジャマイカ, トルクメニスタン, ケニア  
 ・「**福岡恋愛白書**」→モンゴル, ラオス, ジャマイカ, トンガ, セルビア, エチオピア

アニメ

・「**鉄腕アトム**」→サモア, エルサルバドル, メキシコ, チリ, ベネズエラ, ボリビア, ボスニア・ヘルツェゴビナ, ナイジェリア  
 ・「**犬夜叉**」→パプア・ニューギニア, メキシコ, ブルガリア  
 ・「**新海誠アニメ特集**」→モンゴル, ベネズエラ, コスタリカ, アルゼンチン, クロアチア, カタール, エジプト, アンゴラ, モザンビーク

# 「文化のWA(和・環・輪)プロジェクト～知り合うアジア～」概要

平成25年に開催された日・ASEAN特別首脳会議において、安倍総理が表明した「文化のWA(和・環・輪)プロジェクト～知り合うアジア」に基づく各種交流事業を実施(※)

\* 平成25年度補正予算により政府開発援助アジア文化交流強化事業費補助金200億円が一括交付。2020年までの7年間の予算に充当。

国際交流基金内に新設されたアジアセンターを中心として、「日本語パートナーズ」派遣事業、芸術・文化の双方向交流事業を実施

## 日本語学習支援事業

平成32年(2020年)までの7年間で3,000人以上の日本人をASEAN諸国の教育現場に派遣し、現地の日本語教師と学習者のパートナーとし、授業の補佐や教室内外での日本語や日本文化の紹介活動等、各国の日本語教育支援を行うと同時に、派遣者自身も現地の言語や文化を学び、相互理解を深め、各国との交流の拡大を図る事業。



## 芸術・文化の双方向交流事業



**JFA × Jリーグ連携サッカー交流**  
2020年の東京オリンピック・パラリンピックを視野に入れサッカーを通じた交流を実施。



**東京国際映画祭との連携交流事業**  
アジア映画の紹介、アジア映画人の交流促進、特別賞の授賞等、多面的な交流事業を実施し、相互理解を深め、アジアの才能を世界に発信。



**「HANDs! -Hope and Dreams Project!-」**  
インドネシア、タイ、マレーシア、フィリピン、日本から選抜された若手リーダーが、防災教育に取り組むグループ交流・研修事業。

# 「文化のWA(和・環・輪)プロジェクト～知り合うアジア～」

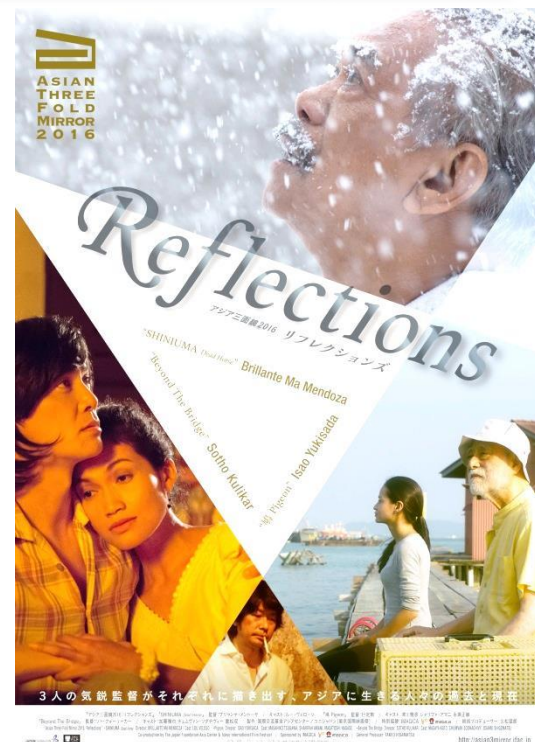
芸術文化の双方向交流事業～文化芸術・知的交流分野における協働作業と成果発信(映像部門)

## <事業例>

### ■ アジアセンター×東京国際映画祭 アジア映画交流事業(継続中)

アジア最大級の国際映画祭との連携  
アジアの映画交流プラットフォームを強化・発展

- アジア部門「CROSSCUT ASIA」新設  
第1回「魅惑のタイ」特集, 第2回「熱風! フィリピン」特集  
第3回「カラフル! インドネシア」特集
- アジア各国から計100名程度の映画関係者を招聘
- 「アジアの未来」部門 国際交流基金アジアセンター特別賞創設  
第1回 ソト・クォリーカー監督(カンボジア)受賞  
→ 多数の国際映画祭に招待, 日本で公開上映  
第2回 デグナー(徳格娜)監督(中国)受賞  
第3回 アランクリター・シュリーワースタウ監督(インド)受賞
- アジア・オムニバス映画製作シリーズ「アジア三面鏡」  
第1弾となる「アジア三面鏡2016:リフレクションズ」完成, 平成28年の東京国際映画祭でワールドプレミア上映



©2015TIFF

©2015TIFF